



2020年10月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH 東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量が前年同月比で8ヵ月連続減、積込量は23ヵ月連続減、取卸量は8ヵ月連続減

概要

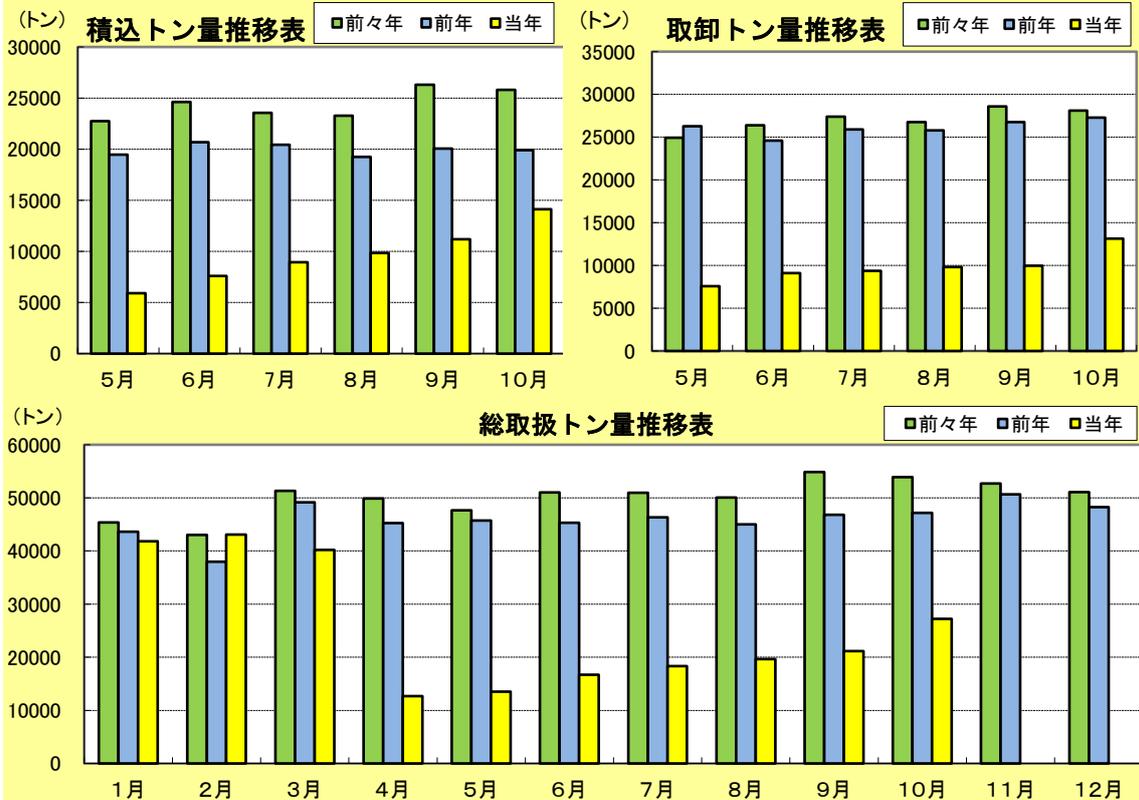
2020年10月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 27,248トン(前年同月比 42.3%減)

積込量 14,114トン(同 29.1%減)

取卸量 13,134トン(同 51.9%減)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量が8ヵ月連続、積込量は23ヵ月連続、取卸量は8ヵ月連続でマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 744トン(前年同月比 38.7%減、シェア 11.3%)

その他地域通関 5,845トン(同 37.0%減、同 88.7%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は8ヵ月連続、その他地域通関は22ヵ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 3,875トン(前年同月比 56.2%減、シェア 49.0%)

その他地域通関 4,030トン(同 39.0%減、同 51.0%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、8ヵ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 7,525トン(前年同月比 20.2%減)

取卸量 5,229トン(同 55.8%減)

となり、前年同月比で見ると、積込量、取卸量ともに8ヵ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2020年10月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 878トン(前年同月比 34.6%減、シェア 22.7%)

ドライ貨物 2,997トン(同 60.0%減、同 77.3%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、水産物35.9%(同72.9%増)、果物5.8%(同60.7%減)、野菜等39.5%(同50.7%減)、植物(切花等)6.8%(同65.6%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2020年10月			2019年10月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	3,875	43.8%	100.0%	8,843	84.6%	100.0%
生鮮	878	65.4%	22.7%	1,343	71.4%	15.2%
ドライ	2,997	40.0%	77.3%	7,500	87.5%	84.8%